

令和7年松本市議会第3回臨時会
市長提案説明

[7.11.4(火) 10:00]

本日、令和7年松本市議会第3回臨時会を招集しましたところ、議員の皆様にご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。提出議案の説明に先立ちまして、所信を述べさせていただきます。

日本経済は、長く続いたデフレの時代を抜け出し、緩やかなインフレ循環を実現できるかどうかのターニングポイントを迎えています。

こうした変化を見据え、私たち地方自治体も、デフレ社会を前提としてきた財政運営から、インフレ基調の経済に適応する財政運営へと、舵を切ることが求められています。

予算編成においては、税収の増加を将来に向けた投資の好機と位置付け、新たな行政需要に迅速かつ的確に対応しながら、成長と分配の好循環を実現することが重要になります。

来年度は、「基本構想2030」が折り返し点を迎え、「第12次基本計画」がスタートする節目の年であります。当初予算編成におきましては、ジェンダー、ジェネレーション、インターナショナル、これら多様性を認め合う寛容なまちづくりが、持続可能な地域社会を実現するための鍵となることを再認識した上で、未来志向の投資と持続可能な財政を両立させる取組みを進めてまいります。

先月15日に開催された厚生委員協議会の協議を経て、松本市立病院の分娩機能を廃止することを決定いたしました。4月に発生した重大な医療事故で顕在化した産科診療体制の構造的な問題を解決することは困難であると判断し、廃止せざるを得ないという結論に至りました。

今後は、近隣の分娩機関と緊密に連携し、出産前後の健診や相談支援などを引き続き提供していくことで、西部地域の妊婦の皆さんが妊娠から産後ケアまで切れ目なく、そして安心して出産に臨める環境の整備に力を尽くしてまいります。

今回の決定を受けて、分娩機能を前提としてきた新病院の建設基本計画は、修正する必要があると考えています。折しも、2040年を見据えた新たな地域医療構想の策定に向けて、年明けにも国のガイドラインが示される見込みであり、医療を取り巻く情勢の厳しさを踏まえた医療制度改正も近く予想されています。

こうした状況に鑑み、現在の建設基本計画につきましては、国や長

野県の動向を注視しながら、改めて松本地域の医療機関や有識者の意見を伺い、必要な見直しを検討してまいります。

「東アジア文化都市」事業について申し上げます。

「東アジア文化都市2026松本」は、「ARTS & PEACE」をメインテーマに、日中韓の文化芸術交流を通じて、自分たちの文化の価値を再認識し、平和への思いとともに世界に発信する催しです。

今月24日に中国・マカオで開催される「日中韓文化大臣会合」で文部科学大臣から国内都市の選定証書を受け取り、来年の5月17日に松本城本丸庭園で開幕式典を行うことにしています。

開催期間中は、市民芸術館の芸術監督団が演劇・舞踊・音楽の分野で3か国のアーティストが共演するイベントを企画しているほか、松本市内の歴史的建造物に中韓両国のアート作品を展示する芸術祭などを予定しています。

さらに、幅広い市民の参加によって開催を盛り上げるため、東アジアとの相互理解や文化交流に資するとともに、松本市の文化を国内外に発信・波及する民間事業を対象に、経費の一部を助成することとし、今月28日まで提案を募集しています。

「東アジア文化都市」が、松本市民と松本を訪れる全ての人たちが多様な文化に触れて日中韓相互の交流を深める機会となるよう、大勢の市民の皆さんとともに準備を進めてまいります。

観光のみならず、文化や芸術、更に松本のまちの魅力を国内外に広く発信する役割を担う「松本市ブランド大使」に、俳優の松重豊さんが就任し、昨日、任命セレモニーを行いました。

ご存知のように、松重さんは、一昨年大河ドラマで、徳川家康の右腕として活躍し、謎の出奔を経て、松本城の築城と城下町の建設に力を尽くした石川数正役を演じ、初代城主・石川数正への共感を広げていただきました。

就任に当たって、松重さんは、「お飾りにならないように自ら松本について発信し、色々な提案もしたい。」と大勢の松本市民を前に意気込みを語りました。

さらに、松重さんが主演するドラマ「孤独のグルメ」が韓国で大きな話題になっていることに触れ、ぜひ韓国の人たちにも松本の魅力をアピールしていきたいと話しています。

松本城はもちろん、街並みや食文化、クリエイティブな雰囲気と言った「松本ブランド」に一層の磨きを掛けるとともに、松重さんの知名度や発信力を生かして国内外から大勢の人たちを呼び込み、一人

一人が豊かさと幸せを実感できるまちづくりを進めてまいります。

それでは、ただいま上程されました議案について、説明申し上げます。提案した議案は、契約2件、財産2件、その他1件の合わせて5件であります。

はじめに、契約案件は、高綱中学校の長寿命化改良事業第2期主体工事を行うもののほか、国が定める労務単価の変更を受けて、一般廃棄物最終処分場埋立地土木施設建設工事の請負契約について、議決更正をお願いするものであります。

次に、財産では、ぐるっとまつもとバスに搭載する地域連携ＩＣカードシステムを取得するもの、（仮称）松本市第一学校給食センター用地として梓川梓地籍の土地を取得するもの、合わせて2件を提出しています。

その他の議案としましては、今年7月に波田中学校敷地内の樹木が倒れたことにより発生した、アルピコ交通上高地線の架線電気設備を損傷した事故について和解するものを提出しています。

そのほか、議案以外のものとして、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告5件を報告しています。

以上、本日提案した議案等について説明申し上げました。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

（以 上）